

町内所管事務調査

総務産業常任委員会

10月15日～16日



1:49:40より
14分
委員長報告

12月の定例会議で結果報告した内容を一部抜粋してお知らせします。

◆五味温泉・エコハウス美桑・結いの森

五味温泉は、食事入浴セット販売の効果は現れている。一方で、光熱水費の増加がカバーできていない状況である。エコハウス美桑は11月14日にワークシヨップを実施することで脱炭素、高気密、高断熱について普及啓発の場を提供している。結いの森の朝食は宿泊客からメニュー増加を望む声があるので、サービス向上のためにも検討したい。



屋根が破れている状態

◆土壌改良施設

本年度の補正予算でガルバリウム鋼板を張る屋根の補修工事を部分的に行っている。

【所見】五味温泉については理事会に担当課の意思が伝わりにくい状態（役場職員が、理事になっていない、オブザーバー参加もない）を改め、今後さらに踏み込んだ経営改善計画を示すべきである。

◆戸田建設（株）熱導管延長

山びこ学園の熱導管分岐点から温水パイプ235mを布設し、戸田建設株式会社所有のイチゴハウス4棟に引き込む工事をしている。

【所見】現在の稼働は1レーンのみであり、今後、冬の堆肥の状態や、指定管理事業者から実態を把握しながら2レーン稼働できる改修計画の判断をしていただきたい。

【所見】熱導管延長工事による地域熱面的拡大により、山びこ学園施設利用者の活動の場が維持・拡大されるよう農福連携の取り組みに期待する。

◆下川中学校

施設分離型小中一貫校は、子どもたちが苦手とするものについてハードルが少しでも下がること、先生は小学校入学時から子どもたちの特性を見ていくことで中学校に移るまでの間に個々の教え方や指導方法など、時間をかけて考えていくことができることも小中一貫の良い部分になると思う。

【所見】中学校の備品や設備が老朽化に伴い使用できない状態である。体育館トイレについては状態も古く、一部の生徒は利用を避け、離れたトイレまで移動しているとの説明だった。それらの不具合については現場の声を聞きながら生徒に不自由のない教育環境にすべきである。

◆札天山收藏館

◆ふるさと交流館

学芸員が不在のため、館内の案内や展示物の解説ができず現在は閉館。清掃等の管理と機械整備を行っている。

【所見】札天山收藏館は長期休館であることから期間限定の完全予約の開館を試みるなど町民に観覧の機会を与えるべきである。

ふるさと交流館は施設の展示趣旨に合わない展示物があるなど、全体の流れに沿って語り部が説明しやすい配置になるよう、今一度検討すべきである。